

フォーカス@キャンパス Focus @ Campus

Hiroshima International University Focus @ Campus



ご意見を工夫に変え 保護者と大学の連携を深める

広島国際大学後援会会員の皆さまには、日頃より後援会活動に温かいご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、後援会最大の行事である教育懇談会を10月22日の東広島キャンパス会場を皮切りに、12月3日沖縄会場までの全12会場で開催し、無事終了することができました。

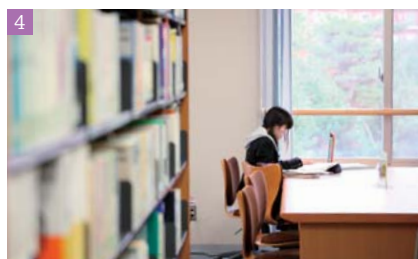
今年度の教育懇談会には、733組、1026人と多数の保護者の方々にご参加をいただきました。懇談会当日は、各学部別に分かれての学部懇談会、医療系・企業系に分かれての就職講演会、昼食会、個別面接という内容で実施されました。

保護者の皆さまと教職員の方々が文字通り“膝をつき合わせて”の交流を図り、情報交換を行う有意義な場となりました。ご参加いただいた保護者の皆さまにおかれましては、ご満足いただける内容でしたでしょうか。

就職氷河期といわれる昨今だからこそ、子どもたちと大学での状況等についてコミュニケーションを図ることは非常に大切ですが、教育懇談会にて大学教職員の方々から学業成績や学生生活等についての情報収集を行い、それを基に将来について子どもにアドバイスを行うことは、就職を成功させるために必要なことだと思います。次年度以降の教育懇談会にぜひご参加くださいますよう、お願いいたします。

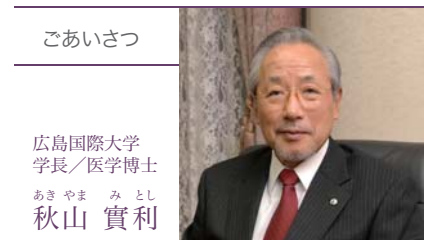
今後も本会の「目を離さな 手を離せ」というスローガンの下、後援会活動で頂戴しました多くのご意見を今後の活動に生かしていきたいと思ひます。

最後になりましたが、後援会運営におきましては、秋山学長先生をはじめ、教職員の皆さまに多大なるご支援、ご協力をいただきましたことを深く感謝申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



〈東広島キャンパス〉

- 1号館の正面玄関前。黒っぽい服装が多い冬のある日、ベンチに一人腰掛けた学生の青色のジャケットは、白い石柱に、よく映えた。
- 2号館にあるコミュニティールーム。売店と自動販売機があり、学生たちは勉強したり、お菓子を食べながら談笑したり、思い思いに過ごしている。
- 授業が終わり、校舎から一気にあふれ出てきた学生たち。彼らが通り過ぎると、その後は寂しいくらい静かになった。
- 東広島キャンパスには、2つの図書館がある。こちらは、3号館の図書館。主に、心理科学部に関する蔵書を扱っている。
- 2号館コミュニティールームの売店で。男子学生が販売スタッフさんと談笑中。大きな笑い声が何度も聞こえてきて、見ていたこちらにも、思わずもらい笑い。
- ドアのガラス越しに垣間見える授業の様子。講義の内容は分からないが、女子学生が多いようだ。横顔にも、真剣さがにじむ。
- 中講堂と1号館をつなぐ渡り廊下。左右に連なる窓からは、空の広さと澄んだ空気を感じられる。が、冬は寒いので、もちろん閉めたまま。
- 体育館の2階から校舎群を望む。手前右が1号館、廊下を渡り、中央奥の塔がある校舎が3号館。左の低い建物が大講堂だ。



皆さまからの期待に応える 大学運営を目指して

昨年11月より本学の第4代学長に就任いたしました秋山です。

今年もいよいよ学位記授与式が間近に迫って参りました。卒業されるご子女の皆さまには、大学で学ばれた知識のみならず、本学が教育理念として掲げている「命の尊厳」を忘れず、それぞれの使命を全うし、社会に貢献していただきたいと願っています。

今後も、本学は教育理念にのっとり、医療・福祉・生活という幅広い分野で活躍する優秀な人材を育成し、地域社会に貢献したいと考えています。皆さま方の期待に応えるよう学生支援事業に取り組んで参ります。

これに加え、保護者の皆さまやご子女のご意見等を大学運営に取り入れて参りたいと考えています。

その一つとして既に、本年度より「学長Cafe」と題し、“学生の率直な意見”を聞く機会を設けました。実際に学生とランチを食べながら胸襟を開いて接することで、学生さんから貴重な意見を積極的に得ることができ、大変有意義であったと実感しています。

また、各地で開催されている教育懇談会に本学教職員が引き続き参加させていただきますので、保護者の皆さまからご子女の大学生活や学業についての悩み、大学に対しての要望等忌憚のない意見をお聞かせいただければ幸いです。

今後ともさらに皆さまからの期待にお応えできるよう、鋭意努力を重ねて参りますので、本学の教育・取り組みに対し、後援会の皆さまの深いご理解と厚いご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。